

検討の視点（参考例）

○ 地域の環境づくり（D1～D7）の取組の方向性

- ・各分野の次期計画における「取組の方向性」の事務局案について、「中間報告書」で取りまとめた課題や、前回（第9回）委員会で出された意見等を踏まえた内容となっているか。

○ C1 福祉人材の育成・確保

C2 事業者の支援

- ・「中間報告書」で取りまとめた課題に対して、必要な取組が位置付けられているか。
(注)「C2 事業者の支援」は、今回より新たに施策体系に位置付けたものなので、「中間報告書」において課題の取りまとめは行っていません。
- ・その他各分野において今後求める、計画に位置付けるべき役割、取組や、強化・拡充等してほしい機能・事業など。

○ 障害福祉サービス等の見込み量について

- ・現行計画期間（令和3年度～令和5年度）におけるこれまでの各サービスの実績や取組をどのように評価するか。
- ・次期計画期間（令和6年度～令和8年度）の各サービスの見込み量についてどのように考えるか。
 - ① 数値
 - ② 基本的考え方（今後の拡大の方向性）
 - ③ 提供体制の確保のための方策
- ・今後、特に充実させてほしい、拡大が必要と考えるサービスは何か。